

家畜衛生情報

家畜伝染病予防法の中には、踏込消毒槽に使用する「消毒薬の種類」が規定されています(下表)。

家畜伝染病の種類	消毒薬の種類
牛疫、流行性脳炎、狂犬病、水泡性口内炎、リフトバレー熱、馬伝染性貧血、小反芻獣疫、豚熱、アフリカ豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、ニューカッスル病、口蹄疫、アフリカ馬疫、豚水泡疫	次に掲げるいずれかの消毒薬(消石灰、パステンなど) 1 消石灰液(10%) 2 両性界面活性剤(ポリアルキルポリアミノエチルグリシンを成分とするもの) ※炭酸ソーダは口蹄疫にしか効果がありません
出血性敗血症、ブルセラ症、ヨーネ病、鼻疽、家禽コレラ、家禽サルモネラ症	次に掲げるいずれかの消毒薬(消石灰、パステン、クリアキルなど) 1 消石灰液(10%) 2 両性界面活性剤(ポリアルキルポリアミノエチルグリシンを成分とするもの) 3 逆性石けん(塩化ジデシルジメチルアンモニウムを成分とするもの)
炭疽	次に掲げるいずれかの消毒薬(アンテックビルコンSなど) 1 ハロゲン化合物(次亜鉛素酸ナトリウムを成分とするもの)
結核	次に掲げるいずれかの消毒薬(消石灰、パステンなど) 1 消石灰液(10%) 2 両性界面活性剤(ポリアルキルポリアミノエチルグリシンを成分とするもの)
牛肺疫、アナプラズマ症	次に掲げるいずれかの消毒薬(消石灰、パステン、クリアキルなど) 1 消石灰液(10%) 2 両性界面活性剤(ポリアルキルポリアミノエチルグリシンを成分とするもの) 3 逆性石けん(塩化ジデシルジメチルアンモニウムを成分とするもの)

ここには、疾病名が列記されていて、その右側には各疾病に有効な消毒薬の成分が記載されていますが、農場へはいつどのような病原体が侵入してくるか分かりません。各病原体に有効なそれぞれの消毒薬があるのですが、**実際に農場で使用する消毒薬は、口蹄疫以外にも効果があるものが良い**と考えます。

表を見ると、**ほとんどの病原体に有効なのは消石灰液(10%)と両性界面活性剤**となっています。よく使用されている「逆性石けん」は「有機物が混入すると効果が落ちる」ため、**少なくとも毎日、使用頻度によっては、一日に何回も交換しなくてはなりませんので、すごく手間がかかります。**また、**気温が低い冬季などは効果が低くなります。****一方、「消石灰」は一部を除き多くの病原体に有効であり、有機物が混入しても効果が変わらないので、週一の交換でOKです。**また、農場出入口へ散布する「消石灰帯」に使う消石灰と全く同じなので、「消石灰帯」と「踏込消毒槽」を同時に作る事が可能です。(両性界面活性剤は一般的でないので割愛します)

消石灰による踏込消毒槽の作り方

作り方は、水10リットルに対し、消石灰100g(紙コップ1杯分)で1%消石灰液です。



**消石灰が目に入らないように
注意してください。**